

財政の仕事

国の予算に貢献！

私が所属している特別主計実地監査官では、国の財政に関する仕事をしています。具体的には、予算執行の実態を調査し、必要性・有効性・効率性の観点から改善すべき点を指摘して予算の見直しにつなげていく「予算執行調査」や、公共事業の実施箇所について必要性や緊急性の観点から情報収集や現地調査を行い、財務省主計局に報告する業務などを行っています。

いずれの業務も、地方の財務局が国の「予算」に対して貢献できる仕事であり、大きなやりがいを得られる仕事です。

また、業務を通じて見識を広められることも、この仕事の大きな魅力の一つです。



国の予算が私たちの身近なところで、様々な形で使われています。「予算執行調査」では、様々な分野の事業を調査する中で幅広い知識を得られるほか、調査先への実地調査を通じて多様な意見を聞くことで、自らの視野の広がりを実感できます。

自身の成長にも繋げられる仕事、是非一緒にしてみませんか？



細川 慶和

HOSOKAWA YOSHIKAZU

PROFILE

【北海道大学 経済学部 卒】

平成18年4月 帯広財務事務所 財務課 採用
平成26年7月 釧路財務事務所 管財課調査主任
平成27年7月 北海道開発局 開発監理部開発計画課地域経済係長
平成28年4月 北海道開発局 開発監理部開発計画課開発計画専門官
平成29年7月 北海道財務局 理財部主計実地監査官（現職）

地方公共団体の財政を支援

私は、地方公共団体などが行う社会資本の整備（学校・病院の建設、下水道の整備など）や、災害復旧のための資金として財政融資資金を貸し付けるなどの融資業務を担当しています。

融資業務では、借入申込の妥当性を審査し貸付を実行するとともに、貸し手の立場から地方公共団体の財政状況を定期的に確認し、その結果である「診断表」を交付することで、財政健全化に関する情報提供や財政運営で今後注意すべきことなど認識の共有を図っています。



管内における平成29年度新規貸付額は、104億円です。当所では融資業務を2人で担当しており、1人が扱う金額はとても大きいです。その分、慎重に審査を行う必要がありますが、神経を使う面はありますが、学校や病院が建設され地域の方々が利用している姿など、仕事の結果が目に見えるので、やりがいを感じています。

このほかにも財政融資資金の活用事例が財務省・財務局のホームページに掲載していますので、興味がある方は是非ご覧ください。



畑中 良太

HATANAKA RYOUTA

PROFILE

【小樽商科大学 商学部 卒】

平成27年4月 北海道財務局
管財部統括国有財産管理官付 採用
平成29年7月 小樽出張所 財務課（現職）

国有財産の仕事

「現地主義」

私は現在、一般の個人や企業、地方公共団体等に国有財産（主に土地）を売却、貸付等を行う業務を行っております。イメージとしては国の不動産屋さんのようなものです。

国有財産業務の特徴の1つとして「現地主義」であることが挙げられます。国有地の使用状況の確認や売却可能な土地なのかを判断するために、定期的に現地へ出向き、調査を行います。このようにアクティブな側面があることも国有財産の業務の魅力の一つだと思います。



また、入局1・2年目でも、電話でお客様からの土地照会に対応したり、土地の売買契約を締結したりと重要な業務を任されます。自分の手がけた案件が契約締結に至り、お客様から「ありがとう」と言われるときは本当にやりがいの感じる瞬間です。

財務局全般に言えることですが、とても働きやすく、風通しの良い職場であると思います。皆様と一緒に働ける日を楽しみにしております。



河合 総一郎

KAWAI SOUICHIROU

PROFILE

【小樽商科大学 商学部 卒】

平成29年4月 北海道財務局
管財部統括国有財産管理官付 採用（現職）

知識の幅が広がる！

私は、十勝管内の国有財産の管理処分業務に携わっています。

主な業務は、国有財産（国が所有する土地など）を必要とする人や企業、地方公共団体等に対し、売払・貸付等を行うことです。

管財課の仕事は、多くの人と関わることができます。国有財産に関する相談は多岐にわたり、相談者の年齢や職業も様々です。相談に来るお客さんと会話をすることで、時には自分の知らない知識を教えてもらうこともあり、知識の幅が広がりとても面白いです。



また、管財課の仕事は外勤が多いのが特徴的です。例えば、国有地を売りたいお客さんが相談に訪れた場合、実際に国有地を売却する前に、現地調査をすることが多いです。国有地の現況がどうなっているか、そもそも売払の相手先として適切かなどを実際に国有地に赴き、目で見て判断の材料にするためです。

国の財産を売って収入を得るということには責任が伴いますが、とてもやりがいのある仕事だと思います。



虎谷 卓也

TORATANI TAKUYA

PROFILE

【北星学園大学 文学部 卒】

平成29年4月 帯広財務事務所 管財課 採用（現職）

金融の仕事

国民の生活を支える

金融監督業務を担当している部署では、金融システムの安定と金融仲介機能の発揮、利用者保護と利用者利便の確保などのため、国民の生活に密着した公共性の高いサービスを提供している地域金融機関が適切に業務を行っているかについて監督しています。

具体的には、金融機関の役員からの直接のヒアリングや財務データの分析、各種届出・報告書の確認などにより、法令に則って健全な経営を行っているか、企業などの顧客に円滑な資金供給を行っているかについて日々検証しています。



後藤 友城

GOTOU TOMOKI

PROFILE

【小樽商科大学大学院 商学研究科 修了】

平成12年4月 北海道財務局 理財部理財課 採用
平成14年7月 金融庁 総務企画局市場課
平成16年7月 金融庁 監督局銀行第一課
平成18年7月 北海道財務局 理財部統括金融証券検査官付
平成19年7月 北海道財務局 理財部金融証券検査官
平成22年7月 帯広財務事務所 理財課調査官
平成23年7月 帯広財務事務所 財務課調査官
平成24年7月 北海道財務局 総務部経済調査課調査官
平成26年7月 北海道財務局 理財部検査総括課金融証券検査官
平成29年7月 北海道財務局 理財部金融監督第二課調査官（現職）

適切な監督業務を行うためには、金融経済や各種法令、財務会計など幅広く高度な専門知識の習得のほか、金融業界・経済の動向の把握など、自己研鑽を絶えず続けることが求められます。

国民の生活を支える業務であるという責任は軽いものではなく、自己研鑽を続けるのも容易ではありませんが、自分の努力が成果につながる実感を得ることができる職場です。

ぜひ一緒に働きましょう！



金融のプロと議論を重ねて

金融機関はどのようにビジネスを行っているかご存知でしょうか。

金融機関は、我々国民から資金を預かり、預かった資金を融資（個人や企業などにお金を貸すこと）や、市場運用（国債や株などの有価証券）で運用し、収益を上げています。こうした運用は、融資をした企業が倒産したり、有価証券で損を被るなど、我々国民の預金を元にした資金が少なからず傷つくリスクを抱えています。

私の所属する部署では、道内の信用金庫・信用組合などに立ち入り、金融機関のリスク管理方法や、管理態勢の十分性を検証し、相手と議論を行います。もし、リスクの管理態勢に問題があると認められた場合には、金融機関に対し、改善を促しています。



佐々木 健人

SASAKI KENTO

PROFILE

【小樽商科大学 商学部 卒】

平成29年4月 北海道財務局 理財部統括金融証券検査官付 採用
平成30年7月 北海道財務局 理財部検査総括課（現職）

当然、金融のプロを相手にするため、業務上相応の知識と努力が必要になります。しかし、相手のために、必死に頭を使い、伝え方を考え、最終的に相手方の状況が改善したり、感謝されたときは、大きなやりがいを感じることができます。



経済調査の仕事

北海道の経済動向を調査

私は北海道経済の動向を調査し、財務省へ報告及び世間に公表する業務に携わっています。

法人企業景気予測調査と法人企業統計調査という2種類の経済調査は、当課で回収・審査した調査票が集計されて統計の数値となり、その数値を用いて経済動向を分析した結果は政策立案等に活用されるため、非常にやりがいを感じます。

四半期ごとに北海道の経済動向をとりまとめている管内経済情勢報告は、課のメンバー各々が担当項目をもち、ヒアリングや各種経済指標の分析、資料の作成を行います。



配属1年目から「個人消費」などの項目を一人で担当することとなるため、当初は不安しかありませんでしたが、上司や諸先輩方のサポートにより段々と安心して業務に打ち込むことができるようになりました。

配属2年目の現在は「観光」などの項目を担当しており、各事務所・出張所の同期とも連携を図りながら、北海道全体の経済情勢を把握するよう努めています。



絹川 真由

KINUKAWA MAYU

PROFILE

【北海道大学 法学部 卒】

平成29年4月 北海道財務局
総務部経済調査課 採用（現職）

「生の声」を基に分析！

私は渡島・檜山管内の調査を担当しています。

特に観光・水産業で知られる地域ですが、様々な課題を抱えています。その現状を、①統計資料等の「データ」と、②スーパーや観光施設、金融機関など、様々な業種の方からヒアリングした「生の声」を基に分析し、発信する。数字でわかることと、数字だけではわからないことを伝える。それが経済調査です。

ヒアリングは、企業の幹部の方とお話するので、日々の準備は緊張感を要します。一方、大切なのは「人と人」の関係ですから、より良い関係作りが重要です。また、ヒアリング先の方にとっても有益な時間とする努力が欠かせません。日々是勉強です。



地域の幅広い業種の方の話を聴くことや、地域のイベントに参加することで、見識が広がる。自分なりに地域の魅力や課題を考えた結果得た「気づき」や「発見」を、次のヒアリングに還元するなど、自分の成長を感じながら、誇りを持って取り組める仕事が経済調査だと考えています。



坪山 真樹

TSUBOYAMA MASAKI

PROFILE

【小樽商科大学 商学部 卒】

平成29年4月 函館財務事務所 財務課 採用（現職）